



2013年7月発行  
 (平成25年7月)  
 千葉県立匝瑳高等学校  
 同窓会事務局  
 〒289-2144 千葉県  
 匝瑳市八日市場イ-1630  
 TEL.0479-72-1541  
 FAX.0479-73-6146  
 代表：大川勝美

# 創立90周年記念事業大綱決まる

記念式典は来年(平成26年)11月

記念事業は中庭整備(西側)と教育助成(10年間)



【写真左】中庭(西側)

調理室、生物室前の整備が90周年記念事業として行われる予定です。



【写真右】中庭(東側)

図書館前の整備は80周年記念事業として行われました。

記念事業詳細は特別号

**8月1日より募金開始！  
 ご協力をお願いします。**

平成24年度

## 定例総会

新会長に大川勝美さん(高20)  
副会長に渡辺順一さん(高21)

▼久古栄二さん(高5)に

感謝状と長老杖

▼東大大学院・小林富雄先生(高20)  
が「素粒子と宇宙」と題して講演

## ご挨拶

平成24年度 同窓会長 大川 勝美 (高20)

同窓会会員の皆様には、益々ご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。平成24年度同窓会長を務めさせていただきました高20回卒の大川勝美でございます。

はじめに、一昨年3月の東北大地震につきましまして、東北地方はもとより、母校の

学区内にも大きな被害をもたらしました。あらためて被災者並びに母校被災関係の方々に対し、深くお見舞い申し上げますとともに一刻も早い復旧、復興をご祈念申し上げます。次第です。

次に、私の年度におきまして同窓会々報の『さふさ』が

2回連続して欠刊致しましたこと、深くお詫び申し上げます。

本校は伝統にも育まれ、東総の要の地位もゆるぎなく、90周年も目前に控えております。この様な重要な時節の折、歴代の会長並びに同窓会関係各位を経て、昨年の6月の総会において岩井前会長より引き継いだわけでございます。もとより浅学非才の身であります。諸先輩が築き上げた伝統を守りつつ、私なりに務めて参りました。あらためて皆様方のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

さて、本年度の活動内容について申し上げますと、大きくは親睦・交流活動、母校支援・相互協力、会を取り巻く諸課題の三点を重点目標に高20回生協力のもと、全員一丸となつて進みました。一点目の親睦・交流活動でございますが、幸い本校同窓会は各支部における熱心な親睦活動に支えられ、また年次別同窓会なども積極的に行われております。本当にたのしい限りであります。本部といたしましても、広く世代を超えての親

睦、交流を図りたく、昨年10月17日と今年5月23日の両日にゴルフ倶楽部成田ハイツリーにおきまして、大勢の皆様のご参加のもとゴルフ大会を開催致し、お天気にも恵まれて無事終えることができました。

次に二点目の母校支援・相互協力に關しましては、平成26年度に本校は創立90周年を迎えます。このため90周年期成会古谷健一会長のもと、周年事業の準備にも積極的に協力をいたしてまいりました。また今後は同窓会長の私と総務部会長の多田博夫さんとそれぞれ90周年期成会副会長、総務委員長として今後2年間協力を致すこととなりました。同窓会員の皆様方におかれましては、引き続きかわらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

三点目といたしまして、同窓会を取り巻く諸課題について、でございますが、会員の確保とともに会費の納入の問題があり、厳しい経済状況のもとで納入額が著しく減少する傾向にあります。対策といたしましてはホームページを

更に活用し、郵送費のかかり過ぎる会報に替わるものとなればさいわいです。是非とも若い方々に活用していただきたくお願い申し上げます。結果として同窓会の活動状況や母校の状況をリアルタイムで皆様にお伝えすることができ、母校愛を醸成しつつ同窓会活動にご理解を得られると思っております。

また、終わってしまいました。が昨年の同窓会総会時の講演には、新たに在校生の参加も募り、高20回卒の東京大学大学院教授の素粒子研究の第一人者、小林富雄先生を招き『素粒子と宇宙』についてお話しいただきました。在校生ならびにご列席の会員の皆様同窓会の存在をより身近に確認していただいたと思えます。

結びに、同窓会会員の益々のご健勝と母校のさらなる発展を祈念し、同窓会本部そして創立90周年の事業に対しまして、さらなるご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。退任の御礼挨拶とさせていただきます。

平成24年度一般会計予算案

自平成24年4月1日 至平成25年3月31日

1. 収入の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算, 増減, 備考. Rows include 前期繰越金, 会費, 入会金, 寄付金, 雑収入, 特別会計より, 計.

2. 支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算, 増減, 備考. Rows include 会議費, 事務費, 旅費, 慶弔費, 振込手数料, 会報発行費, 補助費, 学校支援費, HP管理費, 予備費, 特別会計へ, 計.

財産目録 平成24年3月31日現在

Table with 2 columns: 項目, 金額. Rows include 現金, ゆうちょ銀行 当座預金, ゆうちょ銀行 通常貯金, 一般会計合計, 特別会計, 総資産.

平成23年度一般会計決算書

自平成23年4月1日 至平成24年3月31日

1. 収入の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 備考. Rows include 前期繰越金, 会費, 入会金, 寄付金, 雑収入, 特別会計より, 計.

2. 支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 備考. Rows include 会議費, 事務費, 旅費, 慶弔費, 振込手数料, 会報発行費, 補助費, 学校支援費, HP管理費, 予備費, 特別会計へ, 計.

Summary table for income and expenses. Rows: 収入の部合計, 支出の部合計, 差引残高.

備考

Summary table for assets. Rows: 前期総資産, 当期総資産, 差引差額.

Staff list table with columns for position (e.g., 総務部長, 副会長), name, and graduation year. Includes a vertical title '平成24年度 役員一覧' on the right.

# 就任にあたって

校長 布留川 厚



同窓会の皆様には、日頃より本校教育の推進のために多大な御支援、御協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

私は、この四月に千葉市立千葉高等学校から本校に着任いたしました。私のこれまでの勤務先は、初任の学校は市川市でしたが、その後は千葉市内の学校ばかりでした。そのため、匝瑳高等学校は東総地区での初めての勤務校ということとなります。本校に赴任して、まず感じるのは、地域の皆様、同窓会

の皆様の匝瑳高校への熱い思いです。縁あって、同窓会支部総会にもいくつか出席させていただきました。その席でも、皆様が母校に寄せる愛情と期待を強く感じることでございました。匝瑳高校は、今年度教育委員会から進学指導重点校に指定され、来年には創立九十周年を迎えるなど大きく飛躍しようとしています。校長として同窓会の皆様の期待に応えられる学校経営を目指します。

# 感謝の気持ちを込めて

前校長 鈴木 尚美

新緑の美しさとともに爽やかな風が心地よく感じられるよい季節となりました。

送っております。さて、現職最後の二年間を皆様の母校であり、伝統あるこの匝瑳高校で過ごせたことは、私にとって何ものにも代えがたい幸せなことでした。何よりも生徒が素晴らしく

この三月末で三十八年間の教員生活を終えた私は、年度初めの慌しさから開放され、心からゆったりとした毎日を送ることを見ていました。スーパの冷めない距離に住む息子夫婦の二人の子ども、つまり孫達の世話を気安く引き受けた事で、体力的には現職の時よりもハードな日々を

定時制も含めて、素直で明るく優しい子ども達ばかりで、何事にも一生懸命取り組む姿勢は大変好感が持て、頼もしくもあり将来の社会を担うことのできる素晴らしい人材であ

ることを常に感じさせてくれました。また、先生方の丁寧で熱心な指導のお陰もあり、先生方とも理想的な人間関係が保たれており、まさに皆様が築かれた伝統のおかげであることを実感させていただきました。また、同窓会の皆様の部活動や学習環境の整備等に対する暖かいご支援が生徒達を力強く後押しして下さり、生徒達のより充実した学校生活に繋がっており、本当に有難い事と常に感謝の気持ちでいっぱいでした。本校も創立九十周年を前

# おめでとうございます

平成24年春の叙勲

◆瑞宝小綬章

吉野 忠男先生

(旧職員 理科・教頭)

元公立高等学校校長

平成24年秋の叙勲

◆瑞宝双光章

小川 章さん(高6)

元公立中学校校長

元千潟町教育長

平成25年春の叙勲

◆瑞宝双光章

加瀬 靖之先生

(旧職員・理科)

銚子市文化財審議会会長

元公立高等学校教諭

木下 操さん(高7)

元多古町教育長

◆瑞宝中綬章

石毛 忠さん(高9)

防衛大学校名誉教授

※慶祝の情報がなかなかつかめません。御存知の方は、ぜひ御一報下さい。

最後にになりましたが、同窓会本部役員の方々にはもちろんのこと、東京、千葉、四街道、旭支部をはじめとする各支部の皆様には私のような未熟者に暖かいお心遣いを頂き、心より感謝しております。親しく、心温まるお言葉や励ましを頂きましたことは生涯忘れません。匝瑳同窓会の益々の発展と創立九十周年事業の成功、同窓生皆様方のご健勝をお祈りし、お別れのご挨拶と致します。本当にありがとうございました。

# 支部総会報告

## 【匝東会(東京支部)】

平成24年4月14日、アルカディア市ケ谷(私学会館)において、第14回匝東会総会が、東日本大震災のため半年遅れとなった第13回に続き、その半年後の開催にもかかわらず、109名の参加を得て盛大に執り行われた。

阿部四郎事務局長(高17回)の司会により、第1部総会は、来賓の紹介に続き、宮崎晴可会長(高15回)から平成24年3月9日付産経新聞千葉版の記事を紹介し、元高校教師平塚四郎さん(高12回)が「旭津波被災者支援の会」を設立し、代表として被災者を支援している話を交えて挨拶があった。続いて来賓を代表し、鈴木尚美校長より、母校の桜やメジロの風情を称え、進学状況等の報告並びにご挨拶を頂いた。続いて、亡くなられた会員のご冥福を祈り黙祷を捧げた。その後、宮崎会長の議事進行により、活動報告並

びに会計及び監査報告が満場一致で承認された。

第2部講演会は、愛知県立芸術大学林英光名誉教授(高12回)から「風土と伝統を活かし美しい日本の未来を創る」と題して講演を頂いた。田舎町匝瑳から同学年で4人が芸大へ進んだ故郷の原風景を称え、「年年歳歳花相似」麗しい日本の原風景こそ美の原点と、熱い講演が始まった。機能より景観、便利さより安らぎ、大切なのは心の基盤で



ある。手掛けられた様々なデザインを紹介しながら、自然の摂理に従い敬い、質素な暮らしや生き方を美德としてきた日本の原風景を失ってはならないと強調された。日本の再生は「和モダン」、日本の美を生かそうと、熱のこもった講演を拝聴した。砂漠でオアシスのような胸の高鳴りを覚えた。

第3部懇親会は、佐々木まさ子(高16回)森幸男(高17回)両氏の進行により執り行われた。藤井治副会長(高13回)の主催者挨拶に続き、前回同様、かくしゃくとして今なお現役で活躍されている木川統一郎氏(中14回)の気合の入った乾杯の音頭で、懇親の宴が始まった。外れくじ無しのお楽しみ抽選会で大いに盛り上がった。先輩諸兄から高17回18回卒が若手と声を掛けられ、思わず後ろを振り返ってしまったが、もっと若手の同窓や女性が気軽に参加されることを期待している。

全員で腹の底から高歌吟唱し、母校の益々の発展と同窓各位のご健勝を祈念し、再開を約しながら散会した。

須郷 隆雄(高17回)

## 【京葉支部】

平成24年5月13日(日)、匝瑳中学・匝瑳高校京葉支部の総会を、千葉市の京成ホテルで開催しました。当日は日曜日にもかかわらず、昨年と同数の78名のOB、OGが出席されました。当日は母校校長の鈴木尚美先生、同窓会長岩井和徳氏、前会長の鈴木勝彦氏にも出席いただき、親しく懇談をいただきました。

総会では平成23年度事業報告・収支報告と24年度の事業計画が承認されました。昨年度は年度幹事の変更があったため、一部役員の改選がありました。今年もそれもなく、土岐四郎会長のもと18回卒が引き続き幹事を務めることになりました。

総会終了後恩師である安田侂先生に「源氏物語にみる日本人の美意識」と題してご講演をいただきました。講演を伺って、当時と比べて物質的

な文化は比較にならないほど進化しましたが、精神的な文化はあまり進化していないのではないかと感慨にとらわれました。

その後懇親会が開催され、それぞれ旧交を温めました。最後に匝瑳中学と匝瑳高校の校歌と応援歌を合唱し、品村晃祥先生(中学14回卒、恩師)の音頭で万歳三唱して、来年の再開を誓って散会しました。

また、ゴルフ大会を9月24日(月)に「久能カントリー倶楽部」で開催し、118人が参加しました。当日は真夏を思わせるような天気でしたが、幸い湿度が少なく快適な条件でゴルフを楽しむことができました。4回卒の桑田隆さん(77歳)がクロス73、ネット70・6の好スコア(エイジシュートを遙かに上回る)で優勝し、みんなをびっくりさせました。また、レディスの部では羽田以久美さん(20回卒)が同91、76・6で優勝しました。特筆すべきは村上玲子さん(7回卒)が全ショットホールでパーを取ったことです。(次ページへ)

また、バスによる日帰り旅行を11月10日(土)に計画しています。行き先は鋸山、大多喜城を予定しております。

石井 稔(高18)

支部便り

【飯岡支部】

五月二十六日(土)午後四時より、玉之浦食堂にて開催。水野征夫氏(高14)支部長再任

【匠陵会】

六月八日(金)午後七時より、吾妻庵にて開催。江波戸達郎氏(高20)支部長新任

【横匠会】

六月七日(土)午後五時より、富士屋にて開催。上野敬蔵氏(高21)支部長新任

【光支部】

七月一日(日)午後二時半より、光町公民館にて開催。椎名英夫氏(高11)支部長留任

【千潟支部】

八月十九日(日)午後六時より、嘉儀屋にて開催。菅谷順司氏(高21)支部長新任

【野栄支部】

八月十九日(日)午後六時半より、望洋荘にて開催。林 功氏(高19)支部長新任

【多古支部】

八月十九日(日)午後六時より、釜屋本店にて開催。勝又俊夫氏(高20)支部長新任

【旭支部】

八月二十六日(日)午後二時半より、旭楼にて開催。堀越正夫氏(高13)支部長留任

第7回 匠高無線部OB会

10月23日(火)正午、旭のホテル・サンモールを会場に7回目の匠高無線部OB会を開催する。

昨年は東日本大震災の半年後で大変だった。今回は震災ではないが、土砂降り、強風に雷のおまけ付きの荒天だったが、エントリーした全員が参加してくれた。

1回と3回にご参加頂いた顧問の草木道夫先生(中13回)からは9月7日に「入院中です。皆様によろしく」といっ



第7回・匠高無線部OB会 2012.10.23 撮影時六-4

た返信を頂いたが、10月5日ご逝去されました。【ご冥福をお祈りします。】会員37名中21名の出席は、72〜82歳の集まりとしては異例の高出席率と言えるだろう。特に今回は初めての参加が4名もあった。同学生でも卒業以来となると50年ぶり…。名札を見合つて初めてお互いを認識しあう

といった場面も生じた。自己紹介では、順風満帆や波乱万丈の半世紀が、無線部との思い出や関わりをからめて披露され、在校時代には面識もない仲間の絆が一気に深まった様に思われた。午後2時40分、再会を楽しみに解散する。翌24日メールが入った。「回を重ねるに当たりお互

いに声を掛け合い参加者も増え賑やかになっていき、それぞれの立場で努力され成功されているお話を伺うのも嬉しいかぎりです。」加瀬進(高8)無線部に在籍していたのにOB会の案内の届かない方に参加してみたいと思われる人はご連絡下さい。次回からお誘い致します。新しい仲間大歓迎です。文責・大関 正(高1)

- |             |            |            |
|-------------|------------|------------|
| 米本 雅男 (高10) | 菅谷 幹雄 (高6) | 林 磐 (高7)   |
| 木下 順義 (高10) | 伊橋 幸雄 (高5) | 菅谷 幹雄 (高6) |
| 渋谷 弘美 (高8)  | 江波戸弘己 (高6) | 片岡 工 (中21) |
| 加瀬 進 (高8)   | 飯島 信雄 (高3) | 林 秀夫 (中21) |
| 香取 富 (高7)   | 平山 宗雄 (高7) | 大関 正 (高1)  |
| 伊藤 幸次 (高4)  | 吉田 公生 (高4) | 鈴木 茂陽 (高3) |
| 武田 重喜 (高4)  | 菅谷 稔 (高10) | 大木 喜好 (高4) |
- 〔計21名〕

# 同期の集い

## 第50回「充緑会」(中16) 総会開催(最終)

平成24年5月13日、「梅田屋」にて。

昭和38年1月15日に第1回総会をもって以来50年間、途中1年も欠けることなく続けることができました。

このことは、他に例はなく、今後もこの記録は破られることはないでしょう。とすると、匠磋中学・高校同窓会史上「空前絶後の金字塔」と云えるのではないかと自負しております。

第1回は昭和38年、その時私達は36歳、働き盛りで「懐古の情」に浸っている暇もなかったからか、出席者に大変喜ばれました。

終わって帰る時「ああ、今日は楽しかった！ 大変だけれど毎年やってくれないかな」と皆に言われ、そういうことになり、知らぬ間に50年が経っていたという訳ですが、この50年間1年も欠かす

ことなく続いたということは、我ながら驚きであり、その原因を改めて考えてみると、ひとつは、江波戸三好君が誠実に会計係を努めてくれた上に、あらゆる面で私の相談相手になってくれたこと。二つには、会員達が地区毎に、自発的に会場設営を引き受け世話をしてくれるようになったことです。

始めから4回目までは母校の膝元八日市場でやっていましたが、その4回目の会の解散際に(前もって私は聞き承していた)銚子地区の連中が「来年は俺達が会場を設営しお世話したいんだが、皆楽しみに銚子へ来てくれ！」と叫び、そうになりました。

同じように、次の年は多古地区が声をあげ、その後も旭地区、横芝地区、千葉地区、東京地区(千葉と東京は後に京葉地区となる)と次々声が

上がり、いつしかこの6地区によるローテーションが出来上がりました。そしてその6年毎に巡ってくる「充緑会」の為に各地区とも、幹事を中心に地区全員が喜々として働いてくれました。私はその地区で決めた日時、会場、会費等を元に全員に往復ハガキで通知を出しました。

その「出欠返信文」(返信ハガキの裏面全面を空けて、そこへ近況等何でも書いてもらい)を全部まとめて当日の出席者は勿論欠席者にも配りましたが、之も大変喜ばれました。

このローテーション方法により、マンネリ感はなく起こらぬばかりか、毎年私からの通知を心待ちしてくれるよう

私達が在学していた頃は、学年3学級であり、5年間で何度かクラス編成や担任の先生も変わりましたが、担任としてお世話になった先生方全員に招待状を出しました。そのうち毎年出席して下さった先生方は、越川清先生、鶴澤定一先生、芦野孝一先生、布施誠先生でした。この先生方も、毎年私からの招待状を心待ちして下さったよう

で、出席されると「毎年この会に出るのが楽しみです。ね。」と言っておられました。私達も先生方のお姿に接すると、忽ち中学生時代を想起して心が若返る楽しさを味わわせてもらいました。

しかし、先生方もご高齢になられ、平成8年に芦野先生を最後に全先生方がご逝去され、淋しくなりましたが、私達だけでの会は続いていきました。

しかし、私達自身も又年齢を増し他界する者が多くなり、地区構成が困難になってきました。それを地区の合併で切り抜けてきましたが、遂



### 【前列】

江波戸 茂

平山 昭二

鳥飼 顕照

江波戸三好

林 正夫

中川 昭

### 【後列】

間渕 順二

越川 正寿

前林 一夫

実川堅司郎

遠藤 秀雄

に47回からは又母校の膝元八日市場に固定して実施してきました。

しかし、何せ「後期高齢者」ともなると、出席したい気持ちには山々なんだが、体が言うことを聞かないでねえ、と言う者が増え、出席者は激減してきましたので、大きな区切りである半世紀50年で終了することにしました。

「生者必滅 会者定離」が身に沁みます。

今後は、7〜8割の友を鬼籍に送った私達ですが、何れ遠からずお迎えが参りましよう。その日を楽しみに一日一

日を大切に過ごしていくことにしましょう。そして何れは全員参加の「天国充緑会」を改めて再開したいと思っております。そこは老・病・死の無い純粹理想郷ですから50回どころか無限・永遠に続けることができます。楽しそうですね。そこで思う存分語り合

いながらも、常時は「千の風」に乗って国内は勿論世界中を宇宙を翔け巡り、各方面で活躍している同窓生の一人一人を見守って行くと想います。同窓生の皆さん、頑張ってくださいね！

鳥飼 顕照(中16)

### 中18 「いつぱち雄飛会」を開催して語り継ぎたいこと

角田 喜男

平成二十四年十月二十一日、久し振りに第十回の雄飛会を開催したが、体調の悪い者や奥さんの介護等で欠席される者が多く、今回をもって一応の区切りをつけることにしました。

要望があつて人生の節目である古希を祝い発刊した「激動の記録」の一部を会報「同

窓さふさ」に発表して、苦渋に満ちた青春時代を次世代の人々に語り継いでほしいと申し出があつたので、要約して発表しますから、我々の当時の心情を是非お汲み取りください。

#### 一 入学時から軍事教練と

##### 勤労奉仕

昭和十六年四月、匝中十八

回生として四クラス(今までは三クラス)二一〇名が、夢や希望を抱いて匝磋の丘に健児として入学した。日中戦争が長期化する中で、同年十二月に太平洋戦争に突入していった。学校では配属将校(軍から配置された者)により、軍事教練が一層強化された。農繁期には出征兵士宅の奉仕作業にも従事した。更に学校正門前の桑畑をグラウンドにする作業(現在の弓道場及びグラウンド)で勉強は片手間状態であつた。また団体行動の一環として、松岸からアヤメ丸に乗船、利根川を遡り土浦海軍航空隊の見学、先輩の説明に一同感激、「七つ釘の予科練」に憧れる者も多かつた。

#### 二 学徒動員令が発動され

##### 軍需工場へ

年々戦火が激しくなる中で、昭和十九年三月動員令によつて、大学生は学窓から軍隊へ、中学生は八月からで、五年生は日本建鉄へ、四年生の五十名は親元から離れて鶴見の日本開発機製造(株)へ派遣された。慣れない旋盤や板金等の作業に従事した。夜は宿

舎住まいで、食事也十分ななく、寝てはダニに苦しみ、昼夜の空襲で緊張の日々であつた。B29やグラマン戦闘機の連日の空襲で、市街地は一望の限り焼け野原と化し、同僚の二人が避難の途中爆弾で死亡した。もろもろの通報も電話が不通で仲間の一人が伝令となり、不通区間は徒歩や軍隊のトラックに便乗して、学校や死亡者の自宅に通報したという。

残りの二五〇名は、横浜ヨット鉋子工場(松岸)に自宅から通勤する。作業は強力な接着剤を使いベニヤの船第一四南丸三〇トンを造ることであつた。それまでは特攻用の震洋という一人乗りの舟艇を造つていた。その中でヨット事件と呼ぶストライキがあつて、引率の先生が収拾に御苦労された。この話を聞きつけた陸軍の憲兵(軍の警察)が調査に来たが、部外に洩れることなく収拾したという。通勤の途中の八日市場⇨旭間

では列車のブラインドを閉め、香取基地を覗くことを禁止していたが、この基地を攻撃するグラマン戦闘機に列車

が攻撃されて、下車して退避することが度重なつた。三月末には輸送船が進水したが、艦装後の消息は不明である。我々も戦時措置により四年で繰上げ卒業した。特に進学や就職のない学生は、七月頃まで動員された。

#### 三 陸海軍に志願入隊、そして終戦

戦局が益々悪化するとき、陸軍では軍事教練のある程度修得している我々を対象として生まれたのが、陸軍幹部候補生で、十九年二月採用試験があつた。同級生は三月から十一月にかけて「空の特幹」として八名が全国各地の軍の学校や部隊に入隊した。操縦訓練のため満州に派遣された二名は、不可侵条約を一方的に破棄したソ連軍の攻撃を受け、捕虜となりシベリアに連行され、三年間抑留された。零下四十度の中強制労働に従事、栄養失調になり乍らも帰国の日を持ったという。

一方、海軍の甲種飛行予科練習生は、「七つ釘の予科練」と言い中学四年程度の学力を有する者が対象で、十九年四月から十一月までに、十四期



十五期として二十三名が入隊、二十年には四名の他、海軍経理学校二名、機関学校一名、商船学校一名が入校した。

陸海軍とも短期養成のため教育は厳しく、禁止されている私的制裁は昼夜に拘らず横行、毎晩のように罰則を口実に殴られ、尻を棍棒で打たれ呻き声や罵声が聞こえ、ベッドの中で涙を流した。海軍では、搭乗希望者が多かったが、特別攻撃隊に充当するために飛行機は少なかった。そのため一人乗りの舟艇に爆薬を装填し、敵艦船に突入する訓練や、敵飛行基地に強行突入する空挺斬込隊員としての訓練が日夜繰り返して行われた。いずれも本土上陸が近いという厳しい状況下であった。

土浦航空隊では水上特攻要員編成中にB29や艦載機の攻撃を受け、三百八十一名が散華した。海軍上層部ではB29の発進基地サイパンやテニヤンに対し、空挺斬込隊で破壊する特攻隊の編成を指示、千歳や三沢の基地に集結途中で終戦を知らされた。すると今度は、逆に進駐してくる米軍の警備に廻さ

れ、保安隊として昨日までの敵を守る立場となった。我々十八回生で陸海軍に志願入隊した者は、全員が無事復員することができた。年齢にして十五、六歳の少年達が、自己を犠牲にして祖国日本を守る教育を受けて、歓呼の声に送られての旅立ちであったが、今では得難い体験が出来たとの思いもある。悲惨な戦争は二度と起こしてはならない。今の平和や繁栄は多くの尊い

犠牲の上に成り立っていることを理解してほしい。

四 恩師太田先生の感想

雄飛編を読まれた先生から達筆達意の文章で、感想が寄せられますので、御一読ください。

五 終りに

動員中死亡の二名を含めて同期生の三分の一は既に黄泉の国に旅立たれた。この紙面をお借りして、心より冥福を祈ります。

「雄飛篇」を読んで

太田 末松

文も感動的で、軍隊生活の明暗、欠乏時代の軍の内面の実際が手に取るごとく克明に描かれております。古参兵の悪い面、軍隊の中だけの道理に、最下級の志願兵の立場からひたすら耐え抜いた皆さん、つらかったでしょう。よく頑張りましたね。

りがとうございました。さて、拝読いたしました文集の始めから数行なりとも、めいめいの方々私の感想を申し述べたいと思います。

皆さんは全員生きて帰れて良かったですね。戦争がもう半年続いていたら、果たしてどうなったでしょう。運があつたと思います。シャバもやっぱり戦場でして、残っていた同級生やふるさとの人々も、それはたいへんでしたが、皆さんのこととお話を絞って今考えますと、皆さんはやはり立派な行動でした。それは振り返って批評や反省はありませんが、いのちを捨てて戦った少年の皆さんは決して忘れられません。この雄飛篇が多

くの人人に読まれるよう、私は願っております。発起人の方々のご奔走で、今日只今、或いは何十年ぶりにこの望洋荘に再会できた皆さん、ゆつくり語って昔の少年の時代に立ち返って下さい。老人の私も御招きいただいて本当にあ

親愛あふるる十八回生の皆様、このたびは皆さん揃って古希を迎えられますおめでとうございます。更に尚、角田君小林君を中心として、戦時下の学徒兵として陸軍に海軍に憂国の純情に一命をかけるみず、十六、七歳の皆さんのきびしい体験をまとめられました。すばらしい文集「雄飛篇」を発行なされましたね。本当に有意義な企画でした。長く子孫に伝えるものともな

で、今更乍ら皆さんの純情無垢な美しい少年魂に泣きました。必要以上に体罰を加えられたり、或いはケガさせられることもあり、戦争直後の酷寒のシベリアに少年兵として拘留された人もあります。昔の白虎隊より皆さん耐え抜きました。そして幸いにも無事帰郷されました。本当に神仏が守ってくれたと思います。

文集を読んで、皆さんの記憶力の抜群なのに驚きました。皆さんなんとこの尊い記憶力でしょう。全くどの人の

核のなき 平和祈りて  
子孫らに 青き地球を  
承け継がしたし

私はこの「雄飛篇」を

憶力です。皆さん、ゆつくり語って昔の少年の時代に立ち返って下さい。老人の私も御招きいただいて本当にあ

ます。

〈注〉太田先生は一中一回生で、卒業生のうち最初に母校の教壇に立たれた方です。担当の教科は英語。初代校長草野金松先生の教訓を、何度か朗々と暗誦されたことがあります。

匝六同期会



喜寿の祝いに七十名が参加

晴天に恵まれた十月二十一日(日)、七年ぶりに行われた匝六同期会には、遠くは京都から馳せ参じた者を含む七十名が集い、盛大に行われた。

この集いは、喜寿を祝う会として企画されたもので、二つの会場を利用する試みがされた。母校会場は、十一時から三時まで、西城会館で昼食をとりながら互いの近況を確かめ合う時間として設けられた。

会場の壁には、卒業年次に撮影した若き日の写真が張り出され、面影を頼りに名前を記入していくテストも行われ、記憶を思い起こすのに時間がかかったものの全員の名

前が完璧に記入され、目出度しめでたしとなった。その他、古希の祝賀会時の写真をプロジェクターで再現、今は亡き恩師や友の元気であった姿を思い偲んだものであった。また、お招きした鈴木尚美校長から母校が大躍進されている旨の話をお聞きし、大変心強いものを感じた。

その後、四時から有志五十二名の参加を得て、祝宴会場を成田に移した。同期会最後となる当夜の祝宴は九時まで続き、名残を惜しみながら閉会とした。

(事務局 木内秀昭 記)

匝六B組クラス会

我々高六回卒の喜寿を祝う同期会が昨年十月に開かれ、その席で、来年はB組のクラス会を開こうとの意見がまとまりました。

去る四月十四日昼に、JR千葉駅前の東京湾を一望できるレストラン東天紅で、十四名が出席し、卒業後六十年目のクラス会が実現しました。遙々京都から参加された石井悌二君の乾杯発声で開会。同君持参の卒業時集合写真が回

覧されると、詰襟・セーラー服時代の思い出話に始まり、六十年ぶりの再会を喜ぶ声、重ねて来た六十年の感慨、回顧、悠々の希望と話は弾み、あつという間の三時間でした。

来年もこの時期、この場所で継続開催を決め、元気に再会を約し閉会となりました。その後、コーヒー店に席を移し歓談後、三々五々散会となりました。



匝六B組 千葉東天紅にて

1100回記念「ハッパ」

ゴルフ好きの12回生が「月武会」と称して、月に2回のゴルフ会を楽しんでいるが、平成24年12月に会を重ねて、「200回目」のコンペを祝

う事になった。現在男性30名女性10名の登録会員を数えるが、この会はそもそも4人のメンバーから始まった。以来16年、メンバーもおいおい増え、今日の盛会となった。

当初はこのような大所帯になるとは考えていなかったが、折角の集まりなので、「ゴルフを安く楽しむ、以って健康を増進する」をモットーにしてできるだけ長く続けようと申し合わせた。

そのために、運営企画をしっかりと立て全員参加の運営とした。ちなみに、幹事は持ち回りで、各会の優勝者がそれに当たることにした。発足以来メンバーが増えこそすれ、減らないのは、会の運営が円満に行われているためであるが、メンバー各人の人柄にも負うことが多い。

指を折って数えてみると、男性会員の3分の1が大病を克服して復帰した者達である。会員達が口を揃えるのは、ゴルフができる幸せを出来るだけ長く享受したい、ということだ。そのために体調を整える、そのことが健康の維持



高12回生のゴルフ好き

や病の克服に間違いなく貢献している。

果たして、この同じメンバーで300回記念を祝うことが出来るだろうか。神のみぞ知るといふことである。だが、誰もがリタイアはまだまだ先のことだと思っている。

好きなことに没頭するということは、齢70を越える私達にとつて最も良い長寿の薬になると信じて邁進するつもりである。(高12 磯村武彦)

編集委員会より

御本人の原稿は詳細を極め、メンバーのお人柄や病歴なども記されているが、その辺は大幅に省かせて頂いた。

### 第10回弓有志会

平成24年9月16日(日)にJR八日市場駅西側踏切り際の百木屋本店にて、弓の恩師林初男先生(範士・94歳)の九段位昇段祝いを開催しました。

当日は高5の内藤義美先輩から高17卒業生まで、幅広く有志が集まり、思い出話に花を咲かせ、懇親を深めました。

恩師林先生の御挨拶の中で、「皆さんに聞かすが、弓はあてるものか、或いは、あたるものか、どちらだと思っか」と質問されました。正解は「あたる」ものであるとの事で、基本がきちんと出来ていけば「自然とあたる弓」になるのだと説明があり、「弓道をやつていけば認知症にならない」から、是非弓を引きなさいという励ましも頂きました。

また、今回の参加者の自己紹介の中で、匝瑳高校弓道部の歴史が語られた。昭和28年3月卒業の第5回生内藤義美先輩と小西和夫先輩が中心となり、戦時中の古い弓具をかき集めて、弓道部の前身である「弓道部設立準備会」が



生まれ、自分達の労力奉仕により琛(あがち)の土をオート三輪車で運んだ等の苦勞が語られた。次年の第6回生金谷貞夫先輩の時に「弓道同好会」と改名、第7回生渋谷正平山鐵博両先輩の時に「弓道部」として発足し、現在に至っているという経過を知った。現在匝瑳高校弓道部が躍進して来られたのも、先輩方の大変な苦勞と努力と支援があったればこそだと痛感した。また、恩師林先生のご指導により部員たちが各方面で

活躍しているのだと思い、感謝申し上げます。

当日は、直前になって体調を悪くして欠席者が数名出たことは残念ですが、しばしの時を高校時代の弓道部員に戻り、思い出話や現況報告で大変楽しい時間を過ごすことが出来ました。

今度も目的を同じくする同志が集まり、有意義な人生の拠り所として行きたいと考えております。

(高17 江波戸弘憲)

### 弓道部同窓会報告

かねてから懸案であった匝瑳高校弓道部卒業生による同窓会組織(匝弓会)が数年前に発足しました。ちょうど国

体の弓道競技の会場になった前後ですが、その後、現役の部員が沖縄で行われた高校総合体育大会に参加して成果を上げ、また、国体では上位入賞するなど活躍しました。

弓道部同窓会はこの機会に少しでも後輩を援助しようといふことに呼びかけたところ、約200名に近い方々からおよそ百万円を超える支援金が、弓道部の活動にと集まりまし

た。これらの支援金を当時の校長先生や顧問の先生を通じて生徒に手渡しました。

部活動への援助については、同窓生のゴルフ大会でも開催することに、参加者から集めた資金を提供しているようです。その際には学校側から部活動の活躍状況が報告されています。中でも弓道部の活躍についての報告が多いように思います。

また、匝瑳市が国体の競技会場になったのは、林初男先生始め代々の顧問の先生、地元の弓道関係者の長きに亘る指導と、それに応えて卒業生の弓道界におけるめざましい活躍がもたらした成果でもあると思います。

弓道部同窓会では、今後も後輩達への支援を続けるように方策を検討しています。同窓会活動の一端として、弓道部卒業生による同窓会組織とその活動状況を報告すると共に、匝瑳高校の部活動がこれからますます発展し、進学校としての実績と相まって母校が文武両道の道を進んでくれればと願っています。

(匝瑳高校匝弓会事務局)

### 地球二周分 八万キロ歩く

鳥飼 顕照さん(中16)

定年後、近所の人に誘われ「東総歩こう会」に入会し、地域の歴史を学びながら歩くという目的もあったため、解説役としてすぐに役員になっていけず、脚力をつけようと毎日歩くようになった。

歩く中で、歩数計を着けて歩くように努力してこうした結果が生んだものと思えます。「塵も積もれば山となる」の通り、喜びも厚かましくも一人でも多くの方にお伝えし、たく之を書いておきます。

一九九〇年から歩行距離をカレンダーに書き込むようにしている中で、友人や教え子らに手紙で知らせると電話やメールなどで祝福され、「元気をもらった」気分です。

長生きを続けている限りは歩き続けて記録を重ねていくつもりです。



# 平成25年国公立大学入試を振り返る

進路指導主事 前田 康晴

## 【1】平成25年度 センター試験の 本校の状況

平成25年1月18・19日の両日に実施されたセンター試験の志願者は、全体で約57・3万名、そのうち現役生が約46万名、既卒者が11・3万名でした。これは、昨年度より1・7万名増加していることになり、この原因は、私立大学のセンター方式利用の増加や国立志向の高まりが背景にあると思われますが、特に国立志向は年々高まり、受験者増に拍車をかけているのです。今年度もこの傾向

向は続き、激戦が予想されます。本校生においても、このことを肝に銘じて日々の学習に取り組んでもらいたいものです。

さて、平成23・24年と連続でセンター試験の全体平均点がアップしたことによって25年センターの全体平均点はダウンするのではないかと多くの大学受験関係者は予想していました。(ただ、どの教科科目が難化するかまでは予想できるものではありません。)

思った通り「国語(現代文・古典)」が101.04で前年比-16.91/200点、「数学(数

学I・A)」が51.20で前年比-8.77/100点と大幅に難化し、センター試験全体平均点も前年度比文系40点、理系34点ダウンとなりました。

本校でも、「表1」にありますように、やはりこの2科目の平均点は低く、全体平均点も伸びず、厳しいセンターとなってしまいました。その結果、国立大合格者数23名と昨年より12名も減らしてしまいました。東京工業大学に1名、千葉大学には9名が合格しております。

## 【2】強気の出願をするかどうか

第1希望の大学に合格できなかった生徒はそのまま出願して何の問題もないのですが、

そこまで届かなかった生徒の場合は、第1希望を強気でそのまま出願するかどうかを1週間くらいで判断しなければなりません。その際、個別試験(2次試験)で挽回できず

うならそのまま出願、第2・第3にする場合には全国にある国立大学のどの大学に出願するかなどの重大な決断をしなければならぬのです。生徒のみならず保護者の皆様も悩ましい日々を送ることになりました。このような中で、本校生徒は勇猛果敢に入試に臨みよく頑張りました。心から拍手を送りたいと思います。

## 【3】国公立合格のために

進路指導部としては、次の

ことを目標に掲げて指導しております。

### 《合格のための十訓》

- ・ 志望校は早めに決定！高い目標を掲げて、スタートを切る
- ・ 強い意志を持って、日々努力を積み重ね、合格をつかみとる
- ・ 時期や段階に応じて適切な課題を見極め、計画的に学習を進める
- ・ 基本の理解を最重視！基本問題中心の学習でまず学力の土台を築く
- ・ 知識の覚え方を工夫 積極的に手を動かし、復習で定着させる
- ・ 予習・復習を怠らず、授業を受験勉強に最大限活用する
- ・ 受けた模試はしっかりと復習し、弱点を発見・補強する
- ・ 睡眠時間は削らず、十分な学習時間を確保！ 休日も気を緩めない
- ・ 夏休みは目標を設定！ 自分管理しながら、集中力を保って勉強
- ・ 部活動と同じ熱意で受験勉強に力を入れ、勉強の遅れも挽回

〔表1〕科目別平均点の推移

教科科目		平成25年度		
		全国平均点	本校平均点	本校最高点
外国	英語(筆記)	119.2	118.4	200
	リスニング	31.5	31.6	50
数学	数学I・A	51.2	43.9	82
	数学II・B	55.6	50.1	98
国語	国語	101	88.6	172
理科	理科総合B	54.4	64.1	88
	物理I	62.7	62.2	92
	化学I	63.7	55.9	92
	生物I	61.3	55.9	95
	地学I	68.7	68.2	100
社会	世界史B	62.4	52.4	97
	日本史B	62.1	65.4	100
	地理B	61.9	56.7	81
	現代社会	60.5	59.9	85
	倫理	58.8	57.0	88
	政治経済	55.5	58.7	95
	倫理・政経	60.7	70.0	94

平成25年度 進路状況

平成25年3月31日現在

国公立大学

合格大学名	今年度		
	現	浪	計
弘前大	1		1
東北大		3	3
秋田大		1	1
山形大	1		1
茨城大	3		3
筑波大	1		1
群馬大		1	1
埼玉大	1		1
埼玉県立大	1		1
千葉大	9	2	11
東京工業大	1		1
信州大	1	1	2
千葉保健医療大	2		2
都留文科大	2		2
宮崎県立看護大		1	1
国公立合計	23	9	32

私立大学

合格大学名	今年度		
	現	浪	計
酪農学園大	1		1
茨城キリスト大	2		2
つくば国際大	1		1
常磐大	1		1
流通経済大	1		1
国際医療福祉大	6		6
白鷗大	1		1
上武大	1		1
東京福祉大	3		3
埼玉工大	1	1	2
駿河台大	1		1
東京国際大	1		1
獨協大	7	2	9
文教大	4	1	5
文京学院大	1		1
神田外語大	12		12
敬愛大		1	1
淑徳大	13		13
明海大	2		2
川村学園女子大	1		1
人間総合学科大	1		1
日本医療科学大	1		1
城西国際大	11		11
聖徳大	5		5
千葉経大	2	1	3
千葉工大	23	1	24
千葉商大	1	1	2
帝京平成大	11	1	12
東京成徳大	1		1
秀明大	1		1
麗澤大	1		1
和洋女子大	2		2

合格大学名	今年度		
	現	浪	計
千葉科学大	6		6
植草学園大	6		6
亀田医療大	1		1
青山学院大	7		7
亜細亜大	8		8
桜美林大	1	1	2
大妻女子大	1	1	2
学習院大	1		1
杏林大	3		3
慶応大	1	2	3
工学院大	1		1
日本工大	1		1
国際基督教大		1	1
国学院大	2	1	3
国士館大	5	1	6
駒澤大	8	3	11
駒沢女大		2	2
実践女子大	2		2
芝浦工大		2	2
順天堂大	4		4
上智大	2	4	6
昭和 大		1	1
女子栄養大	3		3
成蹊大	4		4
成城大	2		2
専修大	6		6
創価大	1		1
大正大	1		1
大東文化大	9		9
高千穂大	1		1
拓殖大	1	1	2
玉川大	4		4
中央大	8	11	19
津田塾大	2	1	3
帝京大	17	1	18
北里大	1	1	2
共立女子大	5		5
日本看護大	1		1
日本体育大		1	1
二松学舎大		2	2
武蔵大	2	1	3
東海大	9	1	10
東京家政大	3		3
東京経大	2		2
東京女子大	1		1
東京電機大	4		4
東京農大	2		2
東京薬大		1	1
東京理大	3	4	7
東邦大	6		6
東洋大	19	1	20
日本大	36	9	45
日本社会事業大	1		1

合格大学名	今年度		
	現	浪	計
日本女子大	1		1
法政大	10	3	13
星薬大		1	1
ルーテル学院大	1		1
明治大	11	4	15
明治学院大	4	1	5
明治薬科大	1	1	2
目白大	3	1	4
明星大	4		4
東京富士大	1		1
東京未来大	1		1
立教大	12	1	13
立正大	5	1	6
早稲田大	3	2	5
東京医療学院大	1		1
神奈川大	5	1	6
神奈川工科大	2		2
関東学院大	1		1
東京工芸大	1		1
フェリス女大	1	1	2
横浜美大	2		2
帝京科学大	1		1
中京大	1		1
皇学館大	1		1
大谷大	1		1
京都産業大	1		1
同志社女子大		1	1
立命館大		2	2
追手門学院大	1		1
帝塚山大	1		1
奈良大	1		1
南九州大	1		1
私立大合計	410	82	492

私立短大合計	12	1	13
専門学校合計	25	1	26

就職

公務員合計	10	0	10
民間合計	6	0	6



## 【転入】

職名	氏名	教科	平成24年度勤務校	備考
校長	布留川 厚		市立千葉高等学校	理科
教諭	佐藤 弘之	国語	銚子市教育委員会指導主事	
教諭	青澤 晴美 (高32)	国語	銚子市立銚子高等学校	
教諭(初任)	松浦 茉里奈	国語	新採用	保体
教諭	平山 淳一 (高32)	国語	千葉県立佐原高等学校	国語
教諭(再ハーフ)	小川 照夫	国語	千葉県立松尾高等学校	国語
教諭(再ハーフ)	仲野 仁	国語	千葉県立佐倉東高等学校	数学
教諭	松本 典子	地暦公民	千葉県立市原緑高等学校	理科
教諭	石嶋 博行	地暦公民	銚子市立銚子高等学校	英語
教諭(研修)	相馬 淳 (高46)	地暦公民	千葉黎明高等学校	英語
教諭(再フル)	市原 忠志	地暦公民	千葉県立東金高等学校	
教諭	宇野 典男 (高30)	数学	千葉県立銚子商業高等学校	
教諭(初任)	松本 寛仁	理科	新採用	国語
教諭	松本 剛史 (高40)	保健体育	匝瑳市立野栄中学校	英語
教諭	鈴木 幸子	書道	千葉県立八街高等学校	国語
教諭	高岡 和子 (高32)	英語	銚子市立銚子高等学校	英語
教諭(初任)	森川 真衣	英語	新卒	
教諭(再フル)	高知 尾和	英語	千葉県立成東高等学校	
教諭(再ハーフ)	桑原 正男	英語	千葉県立泉高等学校	
実習助手(臨任)	尾形 光生		千葉県立市川昂高等学校	
非常勤講師	宮野 克行	国語	千葉県立匝瑳高等学校	
非常勤講師	中山 清	理科	千葉県立銚子商業高等学校	
事務長	高木 幸男		千葉県立香取特別支援学校	
主事	相川 一斗		新採用	
嘱託	高木 武男	学校環境	新採用	
嘱託	石橋 美信	学校環境	新採用	
教頭	渡邊 正明		千葉県立東金高等学校	
臨任講師	橋本 直也	国語	新採用	

## 【転出・退職】

職名	氏名	教科	平成25年度勤務校	備考
校長	鈴木 尚美			退職
教諭	永田 勝也	国語	千葉県立成東高等高校(再フル)	退職
教諭	高橋 正幸	書道	千葉県立多古高等学校(非常勤講師)	退職
実習助手	稲垣 清子			退職
教諭	水野 史子	国語	千葉県立東金高等学校	
教諭(再ハーフ)	宮野 克行	国語	千葉県立匝瑳高等学校	
臨任講師	石原 弘康 (高50)	国語		
教諭	田杭 克美	国語	千葉県立銚子商業高等学校	
教諭	山本 望	地暦公民	千葉県立八街高等学校	
教諭	宮原 実	地暦公民	千葉県教育長教育振興部生涯学習課副主幹	
教諭	田端 華乃子	地暦公民	千葉県立松戸馬橋高等学校	
教諭	藤原 和憲	数学	千葉県立東金高等学校	
教諭	八木 重信	理科	千葉県立佐原白楊高等学校	
教諭	西川 美沙子	保健体育	千葉県流山おおたかの森高等学校	
教諭	椎名 利弘	英語	千葉県立銚子高等学校	
教諭	川島 要江	英語	千葉県立東金商業高等学校	
教諭(再フル)	井村 幸男	英語		
学校技能員(再フル)	石井 豊			
非常勤講師	川口 克己 (高15)	国語		
非常勤講師	田中 和雄	保健体育		
事務長	加瀬 良子		千葉県立多古高等学校	
主査	佐藤 敏子		千葉県立銚子商業高等学校	
教頭	行木 利男 (高28)		千葉県立松尾高等学校	
教諭	五木 田勝	国語	千葉県立多古高等学校	

# 恩師品村先生のこと

昭和27年5月、私の「国語

乙」の教科担任として、品村先生を迎えた。入学した4月以来、国語乙の担任が決まらないままになっていた。後に聞くとところによると、大名逸作先生がご病気のため急に休職されたのだという。

その時の教科書は武蔵野書院発行で、上代篇、中古篇、中世篇、近世篇のうち上代篇を学ぶことになった。最初の教科が「古事記」で「天地の初発の時」で始まる神々の誕生・天地創生の神話から「倭建命の東征」などを読み、「万葉集」へと学習が進んだ。以来卒業まで毎年お教えをいただいた。

昭和30年3月、「此処東海」と校歌を歌って卒業した。この昭和30年は母校30周年にあたり、記念事業の一環として新しい校歌が制定された。(この経緯については、「40周年記念誌」に詳しい)「此処東海」の校歌で卒業したのは、私たちが最後だったので

ある。

それから14年経過して昭和44年4月に母校の教師として赴任することになり、品村先生の傍らで仕事することになった。当初は自分の授業のことで精一杯で、周囲に目が届かなかつたが、そのうち品村先生の多彩なお仕事ぶりに圧倒されることになった。

折りしも校舎全面改築推進の真っ最中で、品村先生を含む幹部職員の努力、期成会役員方の精力的な活動は並大抵のものではないと思つた。母校の発展に腐心されるだけでなく、多年に亘る陸上競技への貢献、とりわけ読売新聞主催の青森東京間駅伝の千葉県監督を続けられたことも記憶に残るし、また神主さんとしてのお仕事もあつた。また、同期の中14回生の方々の消息に気を配られ、親睦旅行の立案など楽しいげになされていた。こうした中で、先生は豊かな人脈を築かれて行ったように思う。

私は、昭和55年4月から丸

4カ年母校を離れたが、59年4月から再び母校に就任することになった。実は、品村先生が退職されるので、おまえが帰って来いと声をかけて下さつたのだ。そして、平成2年会報「同窓さふさ」発刊とともに、編集の仕事をご一緒することになった。先生はまた大変ご記憶の良い方で、母校の歩みに精通されていらつ

しやる。そこで「校史探訪」と銘打って連載をお願いした。大方の御好評を得たと思

うが、残念ながら二度と読む

ことができなくなつた。几帳面な筆跡で原稿用紙に向かわれている先生、豊富な話題を心地よさそうに談笑なさっている先生、きつぱりとした口調で「私は生涯現役を貫くつもりですよ」と断言された先生、いろいろな場面での先生のお姿が思い出される。

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。(高7 平山 武彦)

## 平成20年度同窓会々長加瀬武彦氏を偲ぶ

平成20年度同窓会々長加瀬武彦君が去る平成24年11月14日家族に看取られて行年六十八歳の生涯を閉じられました。ここに謹んで御冥福をお祈り致します。

私達昭和20年生まれの仲間が非常に少ない年代で、中学卒業で職に就いた人は金の卵と言われ何かにつけて有利な年代だつたと思う。学生時代の故人は演劇部であり音楽部であつた。会うときは人懐

て頑張っていることを知

つた。その後数年経って匝瑳高校の同窓会の会長が十六回生の中から選任されることがわかり、卒業後初めての同期会が平成20年に開催され101名の参加があり、満場一致で加瀬武彦君の会長が承認された。本当に故人の人徳、人柄が改めてわかりました。会長退任後十六夜会を結成し初代会長となり、夏は八日市場八重垣神社祇園、秋は宮川熊野神社篝火コンサート、冬は忘年会、毎月ゴルフコンペと十六回生の仲間も次第に集まり活発になってきた矢先であり、本校九十周年を迎えるにあたり本当に残念である。

加瀬武彦君の御冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

合掌  
(元総務部長 藤城 吉董)



# 写真集「出会いの物語」発行

同窓会員の皆様、こんにちは。私は高校第22回卒業の志賀正義と申します。同窓会広報誌「さふさ」の姿を俳句と共に解説を加えたものになっています。

平成24年3月に千葉県立学校事務職員を定年退職し、この機会に撮り溜めた写真の一部をまとめ、出版することが出来ました。(学事出版株式会社)

巡る季節の中で少し寄り道をして、出会えた感動たちに足を止めて切り取ったものです。内容は季節を感じる花々や虫たち



志賀 正義 (高22)

## お悔やみ申し上げます

### 《恩師・役員逝去》

- 品村 晃祥先生(国語)(中14) 林 道夫先生(理科)(中13)  
平成25年4月8日逝去 平成24年10月5日逝去
- 昭和27(58)年在職 昭和24(56)年在職
- 匝瑳市榑海一 匝瑳市上谷中一二五九九
- 伊藤 誠先生(国語)(中12) 富澤 好夫先生(数学)  
平成24年2月10日逝去 平成25年5月16日逝去
- 昭和48(56)年在職 昭和46(61)年在職
- 匝瑳市八日市場八・六八八 山武市松尾大堤五四九・二二

加瀬 武彦さん(高16)

37代同窓会長

平成24年11月12日逝去

旭市二・二六三三・一

### 《会員訃報》

ご遺族もしくは関係者から事務局にご連絡いただいた方です。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(平成25年3月31日受付分まで)

- 水野五右衛門さん(中2) 平成24年2月11日逝去  
平成23年9月逝去 横芝光町台八五一
- 匝瑳市大寺一二八〇・二 深澤 照豊さん(中12)  
高木 茂さん(中7) 平成24年11月23日逝去  
平成23年9月5日逝去 銚子市栄町四・一五〇五
- 鎌倉市山之内三三九・一九 伊藤 利彦さん(中12)  
平山 静雄さん(中7) 平成25年1月16日逝去  
平成24年3月1日逝去 旭市飯岡二四七四
- 横芝光町木戸八五五八 今津 清吉さん(中13)  
阿部 明さん(中7) 平成23年7月9日逝去  
平成25年2月28日逝去 座間市相模が丘五・一三・二
- 銚子市新生町二・一六・九 多田 善一さん(中13)  
伊藤 茂隆さん(中11) 平成23年9月17日逝去  
平成23年12月23日逝去 銚子市君ヶ浜八七〇六・二
- 匝瑳市八日市場イ二八三二 高埜 明さん(中13)  
鶴澤 成美さん(中11) 平成24年7月8日逝去  
平成23年2月6日逝去 四街道市大日一六二三・一
- 匝瑳市蕪里二五五七・二 三〇一
- 飯田 敬一さん(中11) 吉田 哲一さん(中13)  
平成25年3月28日逝去 平成23年7月22日逝去
- 旭市八一六五 狭山市狭山台三・二一・八
- 鈴木 純さん(中12) 田村 太一郎さん(中13)
- 平成24年12月11日逝去 旭市鎌数四三五四
- 平成24年10月2日逝去 塙 甲子郎さん(中14)
- 若葉区貝塚町一三二七・二七七
- 崎山 市男さん(中15) 平成24年6月4日逝去
- 四街道市大日六七
- 江澤 潔さん(中15) 平成20年4月15日逝去
- 佐倉市白銀三・一七・一三
- 飯田 武さん(中15) 平成25年1月逝去
- 旭市八・七九
- 鈴木 和さん(中16) 平成24年12月13日逝去
- 富士宮市伝法三〇七五・一
- 岩井 昭司さん(中18) 平成24年5月6日逝去
- 旭市足川三九一八・二八
- 広瀬 隆さん(併中2) 平成23年4月22日逝去
- 横浜市戸塚区汲沢一・十一
- 十六・四〇一
- 大矢 稔さん(中19・20) 平成24年5月5日逝去
- 八千代市八千代台西四・五・三
- 林 伸夫さん(中21) 平成24年1月10日逝去
- 横浜市西区みなとみらい五
- 三・一P三〇〇二一



- 高橋 幸雄さん(中21) 平成23年11月11日逝去
- 有田 堯さん(中21) 平成25年1月17日逝去
- 若葉区西都賀五・三八・二五
- 古川 寛さん(中21) 平成25年3月13日逝去
- 實川 貞勇さん(中22) 平成24年7月21日逝去
- 齋藤 薫さん(高1) 平成23年6月2日逝去
- 宇野 一郎さん(高1) 平成24年7月14日逝去
- 中川 誠さん(高1) 平成24年7月25日逝去
- 鎌倉市今泉二ノ三〇ノ八
- 椎名 克夫さん(高1) 平成25年1月19日逝去
- 川越市霞ヶ関北六・二二・三
- 大木 福兆さん(高1) 平成24年9月22日逝去
- 伊藤 堯公さん(高2) 平成24年6月14日逝去
- 平山 博國さん(高2) 旭市野中二〇四二
- 船橋市西習志野三・一六・二二
- 南 良将さん(高3) 平成24年2月24日逝去
- 横浜市緑区長津田一・二二四・一四
- 椿 茂さん(高3) 平成24年7月12日逝去
- 芝山町大里七・一
- 菊間 将雄さん(高3) 平成23年11月16日逝去
- 上田 和子さん(高3) 平成24年11月15日逝去
- 草加市旭町五・一三・一二
- 鈴木 富三さん(高4) 平成24年5月27日逝去
- 稲毛区園生町一〇一七・五一
- 小林 健樹さん(高4) 平成23年4月14日逝去
- 佐倉市井野一・三九・六
- 加瀬 明さん(高4) 平成23年5月19日逝去
- 所沢市こぶし町二一・一二
- 齊藤 潔さん(高4) 平成23年10月17日逝去
- 旭市新町三四一
- 石橋 晃さん(高5) 平成23年11月3日逝去
- 大田区池上六・三八・三
- 池上ニイサンレジデンス 五〇二
- 加瀬 光一さん(高5) 平成24年6月13日逝去
- 松戸市横須賀二五三
- 新松戸ファミールハイツ六・一〇六
- 齋藤 薫樹さん(高5) 平成23年12月11日逝去
- 旭市イ・二六一八・一
- 林 公男さん(高5) 平成23年5月4日逝去
- 船橋市三山九・三六・四
- 盛山喜久枝さん(高5) 平成24年6月5日逝去
- 美浜区真砂二・四六・五〇三
- 行方 一男さん(高5) 平成24年8月27日逝去
- 飯田 博さん(高5) 平成25年1月2日逝去
- 藤枝市若王子一・四・一一
- 柴田 和子さん(高6) 平成22年11月2日逝去
- 旭市西足洗六〇一・二八
- 澤田 謙三さん(高7) 平成24年3月14日逝去
- 板橋区板橋二・六三・四・八〇一
- 片山 功さん(高7) 平成23年11月10日逝去
- 加須市花崎北ライオンズ
- ガーデンH七〇五
- 宇田川千枝子さん(高8) 平成23年9月9日逝去
- 佐倉市ユーカーガ丘二・一四・四
- 木下もと子さん(高8) 平成24年1月4日逝去
- 四街道市和良比二五八・二二一
- 小川 長男さん(高8) 平成23年2月26日逝去
- 横芝光町母子三二五
- 新妻 孝也さん(高8) 平成24年12月30日逝去
- 土浦市荒川沖二三九・二七
- 川口 みきさん(高9) 平成24年5月9日逝去
- 若葉区若松町四五六
- 伊藤 義雄さん(高9) 平成24年12月21日逝去
- 八千代市勝田台二・二八・一〇
- 武田 光春さん(高9) 平成25年1月4日逝去
- 平成25年1月4日逝去
- 伊藤 義雄さん(高9) 平成24年12月21日逝去
- 多古町多古五七一
- 篠原 昌巳さん(高27) 平成24年5月29日逝去
- 東金市台方四四・一
- 飯嶋 淳さん(高36) 平成24年6月14日逝去
- 旭市二・一三八四・一
- 大川 博さん(高10) 平成24年9月21日逝去
- 匝瑳市田町イ・七九四
- 菅谷 忠治さん(高12) 平成23年10月13日逝去
- 匝瑳市南山崎一六七
- 小川 章さん(高12) 平成22年1月8日逝去
- 山武市津辺三七六
- 高木 肆郎さん(高12) 平成24年6月25日逝去
- 越谷市花田五・一二・一
- 日色 克栄さん(高14) 平成24年5月17日逝去
- 溝口 典子さん(高15) 平成23年4月24日逝去
- 葛飾区高砂七・一一・七
- 林 正明さん(高21) 平成24年9月23日逝去

終身会費納入者

※平成二十四年四月四日から  
九月十三日受付まで

- 〔高三回〕 山下みち子
- 〔高二十三回〕 土屋 一雄
- 〔定昼一回〕 佐々木信子
- 〔高二十四回〕 鈴木世津子
- 〔定夜三回〕 花香 寛源
- 〔高十一回〕 杉戸 寿代
- 〔高十四回〕 江波戸紘一
- 〔高十六回〕 秋山 栄子
- 〔高十七回〕 飯田 利昭
- 〔高十八回〕 米本美津子
- 〔高二十回〕 伊藤 進
- 〔高二十一回〕 泉川 伸子
- 〔高二十二回〕 大久保隆章
- 〔高二十一回〕 杉野 雄史
- 〔高二十一回〕 小川眞砂子
- 〔高二十一回〕 〔高二十二回〕

年会費納入者

※平成二十四年四月十六日から  
九月十三日受付まで

※名前の下の数字は納入して  
いただいた年数を示します。

- 〔高四回〕 中村 靖子5
- 〔高九回〕 齊藤 秀夫5
- 〔高四回〕 中村 靖子5
- 〔高四回〕 齊藤 秀夫5
- 〔高四回〕 阿部 孝5
- 〔高四回〕 大木 行男1
- 〔高九回〕 野村 和夫10
- 〔高九回〕 岸 武子1
- 〔高九回〕 矢田部弘之1
- 〔高十二回〕 菅谷 良民1
- 〔高十二回〕 坂上 義也5
- 〔高十三回〕 柴 一規
- 〔高十九回〕 片岡 浩5
- 〔高十四回〕 平山 邦子5
- 〔高十五回〕 関 勝利1
- 〔高十五回〕 根本 澄江5
- 〔高十六回〕 岩瀬富久子10
- 〔高十六回〕 森田 正司10

- 〔高三十二回〕 石橋 啓子10
- 〔高三十二回〕 宇井 照子1
- 〔高三十五回〕 香取 克男5
- 〔高三十五回〕 半田ひで子5
- 〔高三十六回〕 新行内米子10
- 〔高三十八回〕 滑川ちづ子10
- 〔高三十八回〕 小松原好江10
- 〔高三十八回〕 〔高二十一回〕
- 〔高四十四回〕 尾世川ちづ子10
- 〔高四十四回〕 伊藤 敏朗5
- 〔高四十四回〕 小野 隆司10
- 〔高四十四回〕 須合陽一郎1
- 〔高四十四回〕 小堀 健一1
- 〔高四十四回〕 熱田 隆5
- 〔高四十四回〕 加藤 文子3
- 〔高四十九回〕 伊藤 和明1
- 〔高四十九回〕 及川 博1
- 〔高四十九回〕 向後喜美子1
- 〔高二十九回〕 石井 初枝10
- 〔高二十九回〕 土屋 俊夫1
- 〔高二十九回〕 押田 明裕1
- 〔高二十九回〕 池田 幸枝1
- 〔高二十九回〕 佐藤 絹子10
- 〔高二十九回〕 伊知地良洋1
- 〔高二十九回〕 平山 幸子1

終身会費納入者

※平成二十四年九月二十日から  
二十五年三月二十二日受付まで

- 〔定夜九回〕 宮野 勝秋
- 〔高二十七回〕 林 宏
- 〔高二十七回〕 木内 弘幸
- 〔高五十二回〕 〔高五十九回〕
- 〔高五十九回〕 菅澤 佳織

年会費納入者

※平成二十四年九月二十日から  
二十五年三月二十二日受付まで

- 〔高十七回〕 林 鋭夫1
- 〔高十八回〕 鈴木 英司5
- 〔高十九回〕 小棚 初子15
- 〔高二十三回〕 平江 謙10
- 〔高二十四回〕 栖閑 正夫10
- 〔高二十九回〕 萩原 勉5
- 〔高三十五回〕 伊藤 寿洋5
- 〔高五十五回〕 市原 裕子1

同窓会第17回ゴルフ大会

平成25年5月23日(木)に、  
ゴルフ倶楽部成田ハイッリー  
で行われました。

記念のトロフィーが、大川  
同窓会長より贈られました。  
優 勝 越川 哲哉殿(高30)  
記念のクリスタルの楯が、  
90周年古谷健一会長より贈ら  
れました。  
期成会長賞 勝股 満男殿(高12)

編集後記

編集委員の米本雅男さん  
(高10)が、長野市で開催さ  
れた『全日本教職員パドミン  
トン選手権大会・70歳男子ダ  
ブルス』で優勝しました。

《第46号編集委員》

- 馬淵 英夫 (高10)
- 平山 武彦 (高7)
- 綿貫ひろ子 (高8)
- 米本 雅男 (高10)
- 富澤 汎子 (高11)
- 川口 克己 (高15)
- 岩瀬 道治
- (事務局/高24)
- 大川 勝美
- (会長/高20)